

の資産が登録された。そういった点で，富士北麓地域は，児童にとって最も話題性があり，身近に感じられやすい地域といえる。富士山は江戸時代から富士講と呼ばれる富士登山が流行し，その流れから今日の富士登山が続いていて，近年では外国人観光客による登山も見られる。河口湖や山中湖などの湖畔では，富士山が見える景観を生かし，公園や温泉宿，土産物を売る店を出す他，湖畔を走るバスを開発したり，つりなどのレジャーができる施設を整備したりするなど，観光客を呼び寄せる工夫をしている。また，富士山の伏流水が湧き出した忍野村にある忍野八海は全国名水百選に選ばれ，地域の人たちはこれを生かした観光業を進めている。このように，富士北麓地域を取り上げることは，自然環境や伝統，文化などの資源を保護・活用している地域やそこでくらす人々の生活に見られる特色やよさを具体的に考える上で，最も適した地域であると言える。

また，市川三郷町は，原材料となるこうぞ・みつまたや紙をすくのに必要な良質な水に恵まれていたことなどが理由で手漉き和紙づくりが栄えた。また，水晶がとれたことをきっかけに技術が生まれ，この地域でさかんであった行商によってはんこづくりが確立した。これらの地場産業が発達した所に特色が見られる。

これらの地域のまちづくりにおける特色を調べるために，まず白地図を使って主な地形を把握した後に，地図や副読本，観光パンフレットやインターネットなどの様々な資料を活用して調べ学習をさせる。そして，調べて分かったことや気づいたことを伝え合い活動によって交流させていくことで，県内の様々な地域では，それぞれのよさや特色を生かしたまちづくりが行われていることを理解させていきたい。また，これらの地域学習を通し，山梨のよさにたくさん触れることを通じて，山梨に対する誇りと愛情を育てたい。

４．４年ブロックとしての考え

昨年度は，理科の問題解決学習において，

＊問題に対する視点の明確化と自らの考えを顕在化させるための予想の表出。

＊観察・実験の結果を整理し，分かったことを科学的な見方で表現するためのワークシートや話し合いの工夫。

以上のことに重点を置き，思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動を進めてきた。

今年度は，４学年の児童の実態から，日々の授業において「聞き取る力・思考する力・意見を比べて深める力・伝える力・質問する力」の５つの力を更に伸長させることを目指して，「生きる力」を育みたいと考えた。この５つの力を育てるために，様々な授業において，伝え合い活動を試みている。特に授業研究としては，社会科における伝え合い活動にスポットを当て，調べたことを比較・関連・総合させ，思考力を育てる学習を行うこととした。そのための言語活動の手立てとしては，**「ジグソー法」**を取り入れてみることにした。

　ジグソー法は， http://www.pref.saitama.lg.jp/site/hotnews/260301kyouikuhotnews.html（下記）を参考にした。



ジグソー学習では，まずエキスパート活動で調べたことをもとにして，伝える内容を練り上げていくことができる。次に，それぞれが調べた内容をホーム活動で伝え合い，比較検討していく。さらにクロス・トークで集団としての考えを発展させることができる。また，ジグソー学習は，自分しか知り得ない情報を説明することになるので，説明責任が生まれ，一人ひとりの言語活動が確保できる。そのような言語活動によって思考を深める学習形態になることも利点であると考えた。 学習問題や資料などを充実させて問題発見力や情報収集・選択力，論理的思考力も伸ばしながら，十分な伝え合い活動（言語活動）が行われるようにしていきたい。

５．児童の実態

　男子１５名，女子１６名，計３１名の学級である。課題に対して熱心に取り組み，思ったことや感じたことを素直に発言する児童の多いクラスである。だが社会科に関しては，地図やグラフなどの統計資料から情報を読み取る力が弱く，自分が考えたことをノートに書いたり，発表したりすることができる子が極端に少なく，授業への関心も低いのが現状である。

**［本単元に関わる社会科アンケート］**９月１日実施　　［第4学年1組　計31名］

＊（　）内は行ったことのある児童の人数

1. **山梨県の県庁所在地はどこでしょう。･･･**正解12名　　　不正解12名　　　無回答17名
2. **山梨県にはいくつの市町村があるでしょう。**（正解２７）

・10以下－13名　　　・11～16－５名　　　・23～25－３名　　　・32～35－２名

・40～50－４名　　　・無回答－４名

1. **山梨県内で知っている市の名前を答えましょう。またその中で行ったことのあるところを丸でかこみましょう。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・甲府市－25名 | ・山梨市－10名（5） | ・甲斐市－8名（4） | ・笛吹市－6名（4） |
| ・富士吉田市－4名（3） | ・南ｱﾙﾌﾟｽ市－4名（２） | ・北杜市－4名（1） | ・身延町－3名（2） |
| ・韮崎市－2名（2） | ・大月市－2名（2） | ・南部町－2名（2） | ・甲州市－1名（1） |
| ・富士川町－1名（1） | ・市川三郷町－1名（0） | ・富士河口湖町－1名（0） | ・山中湖町－1名（1） |

1. **山梨で知っている有名なところを答えましょう。またその中で行ったことのあるところを丸でかこみましょう。(山や湖などの名前や地名)**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・富士山－21名（3） | ・小瀬ｽﾎﾟｰﾂ公園－10名（0） | ・河口湖－10名（8） | ・山中湖－8名（2） |
| ・昇仙峡－4名（1） | ・富士五湖－3名（0） | ・精進湖－2名（1） | ・身延山－2名（1） |
| ・ﾌﾙｰﾂ公園－2名（1） | ・八ヶ岳－2名（0） | ・本栖湖－1名（1） | ・桔梗屋－1名（1） |
| ・愛宕山－1名（1） |  |  |  |

1. **山梨の伝統工芸品で知っているものは何ですか。またそれはどこで作られていますか。**

・はんこ－１名　　・和紙－１名　　・誤答３名（こま，剣玉，まがたま，かさ）　・無回答26名

1. **山梨と他県をつなぐ道路や線路の名前で知っているものを書きましょう。**

・中央自動車道－11名　　・中央本線－10名　　・国道20号線－６名　　・身延線－４名

・小海線－１名　　　　　・国道52号線－１名

1. **山梨のよいところ（じまんできるところ）はどんなところですか。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ・果物がおいしい－19名 | ・富士山がきれい－18名 | ・武田信玄が有名－7名 |
| ・山に囲まれて空気がおいしい－4名 | ・自然が多い－3名 | ・ほうとうがある－2名 |
| ・宝石加工がさかん－2名 | ・信玄餅がある－2名 | ・八ヶ岳がきれい－1名 |
| ・山の紅葉がきれい－1名 | ・富士五湖がある－1名 | ・白州の水がおいしい－1名 |
| ・山中湖の空気がおいしい－1名 |  |  |

1. **甲府のよいところはどんなところですか。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ・自然が多い－5名 | ・水がきれい－3名 | ・お米がおいしい－2名 |
| ・田や畑がある－2名 | ・小瀬ｽﾎﾟｰﾂ公園がある－1名 | ・舞鶴城公園がある－1名 |
| ・昇仙峡がある－1名 | ・リニアがある－1名 | ・山に囲まれている－1名 |
| ・いろんな電車が走っている－1名 | ・星がきれいに見える－1名 |  |

1. **調べ学習をするときは，どのような方法で調べますか。**

○インターネット･･･22名　　○本･･･19名　　○　インタビュー－14名　　○見学･･･６名

○資料･･･５名　　○アンケート･･･１名

　県庁所在地や県内の市町村数の正答の少なさから，児童の多くが山梨県を構成する地域についての知識や地理的感覚が未熟だということが分かった。知っている市町村については，山梨市・甲斐市・笛吹市などの甲府市周辺の地域が多く，生活圏の身近な地域は知っていたり，訪れたりしたことがあるが，それ以外の地域についてはあまり理解していないことが分かった。

　山梨県の有名なところで富士山を回答した児童が31名中21名（全体の67％）であったが，これは世界遺産登録されたことによる話題性によるものと，実際に富士五湖などの富士山周辺の観光スポットを訪れたことのある児童が多いことが理由と考えられる。それ以外の場所では，小瀬スポーツ公園や桔梗屋など体験教室で訪れたことのある場所の記述が見られ，有名なところという概念が生活圏に限定されて捉えられている傾向がある。

山梨の伝統工芸品について知っている児童は，身近に物が無いせいかほぼ皆無に等しく，本単元での学習の必要性が感じられた。

　山梨のよいところを聞いた回答については，「ぶどうやももなどの果物が有名またはおいしい」と回答した児童が19名（全体の61％）おり，その中で「生産量が日本一である」と回答した児童が２名いた。果物は普段から目にするものであり，児童にとって身近に感じられることが，認知度が高い理由だと考えられる。次いで「富士山がある」または「きれいに見える」と回答した児童が18名（全体の58％）いたが，これは前述のように富士山は話題性があり，直接近くで見るなどの体験によるものが理由と思われる。また回答の内容を全体的に見ると，「山がある・空気や水がおいしい・自然が多い」など，山梨の良さを自然と関連させて考えている児童が多いことが分かった。

**［言語活動に関するアンケート］**

1. **友だちの考えと自分の考えを比べた上で，自分の考えを持つことができますか。**

**できる(11名)　どちらかというとできる(15名)　どちらかというとできない(5名)　できない(0)**

1. **自分の気持ちや意見や考えを人に伝えるのが好きですか。**

**とてもすき(7名)　　　すき(17名)　　　　　　きらい(7名)　　　　　とてもきらい(0)**

1. **伝え合い活動(ペア・グループ)が好きですか。**

**とてもすき(11名)　　すき(14名)　　　　　　きらい(6名)　　　　　とてもきらい(0)**

1. **学習したことを，自分の言葉でまとめることができますか。**

**できる(14名)　どちらかというとできる(12名)　どちらかというとできない(5名)　できない(0)**

1. **話し方キーワードを使って，話すようにしていますか。**

**している(12名)　どちらかというとしている(1名)　どちらかというとしていない(18名)していない(0)**

　自分の考えをもつことができる児童が大半ではあるが，できない児童が数人見られる。これらの児童に対し，資料の読み取りの段階で個別に支援を行っていく必要がある。また伝え合い活動が好きな児童が多い一方で，嫌いだと答えた児童が６名いた。これらの児童は授業に関心が持てない，何を考えてよいかが分からない，考えたことを表現する方法が分からない，間違えるのが恥ずかしいなど様々な理由で伝え合い活動を好きになれないでいると思われるが，いずれにせよ授業を組み立てる段階で児童が興味を持ち，伝え合い活動を積極的に行いたいと思わせるような教材提示や発問を考える必要性を感じた。また話し方キーワードの意識が低いが，他者との考えを比較し，考えを深める手段として重要な話型なので，社会科のみならず様々な学習場面で使用させ身につけさせたい。

６．単元の目標

○地図帳を活用し，我が国における自分たちの県（都，道，府）の地理的位置をとらえるとともに，各都道府県の位置と名称を調べ，４７都道府県により構成された日本の全体像をイメージすることができるようにする。

○県（都，道，府）内における自分たちの市（区・町・村）の地理的位置や，自然環境，伝統や文化などの地域の資源を活用している地域の人々の生活，県全体の地形やおもな産業，都市，交通網について調べ，県の特色をつかむとともに，国内外の他地域との結びつきを理解することができるようにする。

◇小単元（本単元）の目標（「富士山のふもとのまちづくり」）

○山梨県にある富士北ろく地域は，世界文化遺産の富士山やその周辺の自然環境を生かしたまちづくりに取り組んでいる。

９．本時の学習（第３次第３時）

（１）日時　１１月１２日（水）６校時

（２）場所　４年１組教室

（３）本時の目標

　　・富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけを，資料をもとに調べ，伝え合う活動を通して考えることができる。

（４）本時について

本時は「県（都，道，府）内の特色ある地域の人々の生活」の学習として，自然環境・伝統や文化などの資源を保護・活用し，観光地としてのまちづくりに特色が見られる，富士北ろく地域を取り上げる。

まず，本時の前半では，富士北ろく地域が観光客に人気がある理由を予想させた後，富士北ろく

地域を４つの地域に分け，調べる地域を児童に選択させて調べ学習させる。

次に，本時の後半では，他の地域を調べた友だちとお互いに調べて分かったことを報告しあい，白地図にまとめさせていく伝え合い活動をさせる。これにより，富士北ろく地域のよさを様々な視点から捉えさせ，この地域にたくさんの観光客が来るわけについての考えを深めさせる。

最後に，クラス全体で観光客がたくさん来るわけについて，考えたことを交流させる。そして，本時の学習で分かったことを，最初の予想と比較してまとめさせる。

以上の流れを通して，富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけを考えさせたい。

（５）本時の言語活動について

　　　本時の言語活動の手だてとして，「ジグソー学習」を取り入れた。これは，児童一人ひとりに課題の解決に必要な情報を収集させ，調べて分かったことをグループ内で伝え合わせ，課題の解決に必要な知識を総合させていく活動である。

はじめに，富士北ろく地域を４つの地域に分ける。この４つの地域それぞれを，４人で構成される小集団（ホームグループ）で，一人が一つの地域を調べるように分担させる。

次に，同じ地域同士で振り分けられた児童（エキスパートグループ）が集まり，互いに共通の資料から読み取れたことをもとに，調べて分かったことを話し合わせる。

最後に，エキスパートグループで調べて分かったことを，ホームグループに帰って伝え合わせる。これは一斉指導に比べて全ての児童が発言する機会を与えられるよさがあり，また自分しか知り得ない情報を説明することになるので，説明責任が生まれ，自らの考えがより深まることが期待される。また，自らの考えを説明するだけでなく，自分が調べていない他の地域の友だちの考えも聞くことによって，問題の解決に必要な新たな考え方に気づくことにもなる。

富士北ろく地域になぜたくさんの観光客が来るのかという問題を解決するために，自分と友だちの考えを比較・関連させる伝え合い活動を通して，児童一人ひとりに思考力・判断力・表現力が育まれていくと考える。

（６）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動と内容 | 指導上の留意点　＊評価〈方法〉 |
| つかむ  20分  調べる  ①  25分 | （前時）  **１．学習問題をつかむ。**  ○山梨県内の観光入込客数のランキング表を見て，一位が富士北ろく・東部圏であることを理解する。  どうして富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るのだろう。  **２．予想を立てる。**  ○地図や映像資料を見て，観光客が多く来る理由について考え，予想を立てる。  **３．富士北ろく地域に観光客がたくさん来るわけについて調べる。**  **《ジグソー学習：ホーム活動　Ⅰ》**  ○調べる地域を分担し，確認する。  **《ジグソー学習：エキスパート活動　Ⅰ》**  ○地域ごとエキスパートグループに分かれ，観光客が来るわけについて調べる。  **〈富士吉田市〉**  ・富士山（歴史・登山）  ・浅間神社（富士山信仰）  ・吉田のうどん（伝統・富士山のわき水）  **〈富士河口湖町　東〉**  ・河口湖（天上山公園・遊覧船・レジャー）  ・西湖（ク二マス・風穴・氷穴）  **〈富士河口湖町　西〉**  ・本栖湖（逆さ富士・レジャー・魚）  ・精進湖（「東洋のスイス」ヘラブナ）  **〈忍野村・山中湖村〉**  ・忍野八海（富士山のわき水・名水百選）  ・山中湖（フジマリモ・KABA） | 【山梨県の観光地ランキング表】  『平成24年山梨県観光入込客統計調査報告書』  【富士北ろくの白地図】掲示用  【ワークシート】  ・ワークシートに予想した考えを書かせる。  ＊（評価①）〈ワークシート〉  【富士北ろくの白地図】児童用  ・ワークシートの自分が調べる地域に丸をつけさせる。  ・富士北ろくの各地域の資料をもとに，観光客が来るわけについて調べさせ，分かったことをワ　ークシートに書かせる。  ＊（評価②）〈ワークシート〉  【富士北ろく各地域の調べ学習用資料】  ＊参考図書  『るるぶ2014年度版』  『富士山大事典　くもん出版』  『世界遺産　FUJISAN』  『富士北麓完全ガイド』 |
| ふりかえる  ２  分  調べる  ②  ８  分  伝え合う  15  分  深める  15  分 | **（本時）**  **４．前時までの学習内容をふりかえる。**  ○学習問題と予想をふり返る。  ・富士山があるから。  ・富士五湖があるから。  ・自然が多いから。  ・うどんが有名だから。  **５．前時で調べてわかったことをまとめる。**  **《ジグソー学習：エキスパート活動　Ⅱ》**  ○各自が調べたことをもとに，ホームグループで報告することを話し合ってまとめる。  **６．調べてわかったことを伝え合う。**  **《ジグソー学習：ホーム活動　Ⅱ》**  ○ホームグループにもどり，各地域で調べた観光客が来るわけを伝え合う。  ○伝え合った内容をもとに，富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけを話し合ってまとめる。  **７．考えを交流し，深める。**  **《ジグソー学習：クロストーク　》**  ◎富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけについて考えたことをクラス全体で交流し，考えを深める。  ・富士五湖の景色がいいから。  ・自然が多いから。  ・登山の歴史がある富士山があるから。  ・伝とう的な食べ物のうどんがあるから。 | 【山梨県の観光地ランキング表】  『平成24年山梨県観光入込客統計調査報告書』  ・児童が前時に立てた問題と予想を掲示する。  【富士北ろくの白地図】掲示用  ・ワークシートに書いたわけをもとに，ホームグループで報告することを話し合わせ，付箋に書かせる。  ・富士北ろくの白地図に，エキスパート活動でまとめた付箋を貼らせながら，各地域で調べてきたことを伝え合わせる。  【富士北ろくの白地図】児童用  ・話し合ってまとめたことを，ワークシートと発表用のホワイトボードに書かせる。  【ホワイトボード】  ・各グループごとにホワイトボードに書いてまとめた内容を発表させ，考えを交流させる。  （評価③）〈ホワイトボード〉〈発言〉  ・観光客が来る理由について，共通している所や  　ちがうところを色分けし，キーワード化して板書する。  キーワード  ○富士山　○自然　○伝とう　○歴史 |
| まとめる  ５  分 | **８．本時のまとめをする。**  ○富士北ろく地域にたくさんの観光客が来る理由について，分かったことをワークシートにまとめる。 | ・前時に立てた予想と本時の学習内容を比較させ，富士北ろく地域について，考えが深まったところを書かせる。  ＊（評価④）〈ワークシート〉 |

＊言語活動に関わる子どもの姿【評価規準】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 社会的事象への  関心・意欲・態度 | 社会的な思考・判断・表現 | 観察・資料活用の技能 | 社会的事象への知識・理解 |
| ○富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけについて，意欲的に調べようとしている。  （評価①）  〈ワークシート〉 | ○富士北ろく地域にたくさんの観光客がくるわけについて話し合い，考えを深め，表現している。  （評価③）  〈ホワイトボード〉  〈発言〉 | ○資料をもとに，富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るわけについて読み取っている。  （評価②）  〈ワークシート〉 | ○富士北ろく地域は，富士山を中心とした美しい自然，歴史や文化などが，多くの観光客を集めていることを理解している。  （評価④）  〈ワークシート〉 |

〈板書計画〉

11/12

どうして富士北ろく地域にたくさんの観光客が来るのだろう。

キーワード　　・富士山　　　・自然

・歴史や文化　・伝統

〈予想〉

富士北ろくの

白地図

富士山があるから

富士五湖があるから　　　　　　　　　　　　〈各班のホワイトボード〉

自然が多いから

④

①

③

②

うどんが有名だから。

⑧

⑦

⑥

⑤